

令和5年度行政事業レビューシート (デジタル庁)							
事業名	共創プラットフォーム			担当部局庁	戦略・組織グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	コミュニケーションデザイン総括	企画官 外山 雅暁	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	「デジタル社会の実現に向けた重点計画」(令和5年6月9日間議決定)		
政策	情報通信技術等の適正・効率化に関する施策の推進			主要経費	その他の事項経費		
施策	情報システムの整備						
政策体系・評価書URL	https://www.digital.go.jp/policies/assessment/						
事業の目的(5行程度以内)	本事業は、全国の自治体におけるデジタル改革推進のため、自治体職員及び政府機関職員を対象に『直接対話型』で意見交換や情報共有などのコミュニケーションを取ることができ、特定の自治体職員等との個別のやり取りといった手段に限られており、政府が全国の自治体の職員ときめ細やかな対話を行って、適時・適切に、実務に即した課題の特定や情報共有を行いながら政策を検討する場が必要であるため、そのような場としてデジタル改革共創プラットフォームを運用している。本プラットフォームには、2023年8月時点で自治体職員約5,700人、自治体約1,257市区町村が参加しているが、未加入の自治体もあることから活用を一層促進していく必要がある。						
現状・課題(5行程度以内)	デジタル社会の実現のためには、政府が自治体にわかりやすく目標・取組・スケジュールなどの段取りを示し、適時・適切に調整しながら政策の形成・実現を図ることで、住民サービスの安定・向上と、自治体業務の円滑化・効率化を実現していくことが必要。しかし従来より、政府と自治体とのコミュニケーションは、メールリストや掲示板を利用した情報共有や、特定の自治体職員等との個別のやり取りといった手段に限られており、政府が全国の自治体の職員ときめ細やかな対話を行って、適時・適切に、実務に即した課題の特定や情報共有を行いながら政策を検討する場が必要であるため、そのような場としてデジタル改革共創プラットフォームを運用している。本プラットフォームには、2023年8月時点で自治体職員約5,700人、自治体約1,257市区町村が参加しているが、未加入の自治体もあることから活用を一層促進していく必要がある。						
事業概要(5行程度以内)	本事業は、自治体におけるデジタル改革推進のため、全国の自治体職員と関係府省職員のコミュニティ形成をねらいとして、現場の業務や技術面から検討に参加する双方職員の交流の場を設けるものである。主な利用方法として、政策の検討に当たって関係府省の職員が議題を設定し、掲示板もしくは特定の参加者間でのビジネスチャット機能等の利用を通じて、現場の業務を知る職員等との適時・適切かつ、自由闊達な意見交換を通じ、政策課題の検討や効果的な政策の実現に活用している。また、自治体職員からの実務に即した課題提起や情報共有、有効事例の共有等に関する投稿を受け付けることにも利用されており、全国の自治体職員の密な相互交流の場として機能している。このようなコミュニティが形成・継続されることで、円滑な情報流通が可能となり、施策の実施にあたっての工夫やインシデントの即時共有等が進み、単独の自治体では解決が困難あるいは解決に時間を要していた課題も素早く適切に解決されるようになる。						
事業概要URL	https://www.digital.go.jp/get-involved/co-creation-platform/						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		令和5年度第1次補正予算	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	112	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	計(A)	-	-	-			

活動内容① (アクティビティ)		自治体のシステム等について、現場の業務や技術面から検討に参加する全国の自治体の職員、関係府省の職員等に対して議論の場を提供する。主な利用方法として、政策の検討に当たって関係府省の職員が議題を設定し、掲示板もしくは特定の参加者間でのビジネスチャット機能等の利用を通じて、現場の業務を知る職員等との適時・適切かつ、自由闊達な意見交換を通じ、政策課題の検討や効果的な政策の実現に活用する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		自治体のDX担当が、必要な時に必要な情報にアクセスできる場所の提供と、国職員と議論できる場所の提供。	運用しているコミュニティ件数	活動実績	件	-	1	1	-	-
				当初見込み	件	-	1	1	1	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		情報にアクセスできる場所の提供のため、まずはコミュニティを用意することが重要である。そのため、運用しているコミュニティの件数を短期アウトカムとした。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度	
		コミュニティが問題なく維持・稼働している。	コミュニティの稼働率(システムの稼働率的)	成果実績	%	-	100	100	-	
				目標値	%	-	100	100	100	
				達成度	%	-	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する 成果実績		29.広報関係システム_04_プロジェクト計画書(共創PF_ver2.2)								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		-								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
		-	-	成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する 成果実績		-								
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		効果発現の初期段階として、まずは広報周知の実施によって共創PFへの登録者数が増加することが求められる。そのため、月間ユーザー数が向上することを長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5年度	
		自治体のDX担当が、必要な時に必要な情報にアクセスできる場所の提供と、国職員と議論できる場所の提供。	月間ユーザー数	成果実績	人	-	1,965	5,068	-	
				目標値	人	-	-	4,446	7,000	
				達成度	%	-	-	114	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに関する 成果実績		29.広報関係システム_04_プロジェクト計画書(共創PF_ver2.2)								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

デジタル庁



随意契約(その他)

A SBテクノロジー株式会社

[デジタル改革共創プラットフォームの機能拡充
及び運用・保守等の業務]



B 株式会社両備システムズ
24.2百万円

C 中央システム株式会社
10百万円

D 株式会社システムリサーチ
12.5百万円

[LGWAN環境の構築
LGWAN-ASPサービスの提供]

[運用・保守業務]

[アプリケーションの開発のうち、基
本設計から運用保守までの工程に
おける、設計工程]



E 株式会社シンクギア

[アプリケーションの開発のうち、基
本設計から運用保守までの工程に
おける、コーディング作業]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金額 が支出されている者につ いて記載する。費目と使 途の双方で実情が分かる ように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	プロジェクト管理、運用設計・システム運用・保守業務等	65.3	人件費	LGWAN環境の構築 LGWAN-ASPサービスの提供	24.2
	委託費	株式会社両備システムズへのLGWAN環境の構築 LGWAN-ASPサービスの提供委託業務	24.2			
	委託費	中央システム株式会社への運用・保守委託業務	10			
	委託費	株式会社システムリサーチへのアプリケーションの開発委託 業務	12.5			
	計		112	計		24.2
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	運用・保守業務	10	人件費	アプリケーションの開発のうち、基本設計から運用保 守までの工程における、設計工程	4
				委託費	株式会社シンクギアへのアプリケーションの開発委託 業務	8.5
	計		10	計		12.5
E.			F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	アプリケーションの開発のうち、基本設計から運用保守までの工程 における、コーディング作業	8.5				
計		8.5	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						<input type="checkbox"/> チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	SBテクノロジー株式会社	7011101033773	令和4年度デジタル改革共創プラ ットフォームの機能拡充及び運用・保守等の 請負	112.2	随意契約(その 他)		1	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社両備システムズ	8260001007077	LGWAN環境の構築 LGWAN-ASPサービスの提供	24.2				

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	中央システム株式会社	6011101062212	運用・保守業務	10				

D.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社システムリサーチ	8180001030616	アプリケーションの開発(基本設 計以降を担当)	12.5				

E.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社シンクギア	9010801018413	アプリケーションの開発(基本設 計以降を担当)	8.5				

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック